



「善力前進」ともに伸びよう 善前小 ～はずむ心 きたえる体 学ぼう創ろう「みどりの学園」～

『過程』を大切に 取り組んでまいります

校長 小田切 倫子

38日間の夏休みが終わりました。暑い暑い、本当に暑い夏休みでした。そのような中でしたが、充実した時間が過ごせましたでしょうか。夏休み期間中の保護者や地域の皆様の見守りや心遣いに、感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

子どもたちが話すエピソードや作品等には、喜びや感動、驚きや発見、努力や葛藤など、いろいろな思いがたくさんつまっていて、それぞれの成長を感じることができます。教室を回り、それらに触れるのがとても楽しみです。作品等はしばらく展示してありますので、授業参観・懇談会等の折に、ぜひご覧ください。

さて、今日から2学期です。2学期は一番長く、様々な行事もあり、たくさんの活動を通してその学年としての学びを広げ、深める時期です。『結果』や『出来栄』ではなく、一生懸命取り組む『過程』を大事にしながら丁寧に取り組んでまいりたいと思っています。

最初の行事は、運動会です。ところで、運動会はなぜ行うのでしょうか？子どもたちに、まずそこからしっかり考えさせます。「毎年やっているから」では、答えにはなりません。答えは一つではありませんし、個々の答えがあってもよいでしょう。ただ、どのような答えであっても大切にしたいキーワードを、2つ、子どもたちに示しました。

実りある運動会にするために 大切にしたいこと
「成長」と「感謝」

1つ目のキーワード、「成長」についてです。

“運動会”ですから、運動が得意な子も苦手な子も、より速く、より強く、より高く・・・などを目指し、運動の技能を高めます。人と比べることはありません。今の自分と比べて「成長」することが大切です。また、運動の技能だけではなく、心の「成長」も重要です。嫌いなことや苦手なことから逃げない、負けそうになってもあきらめない、周りの人の動きに気を配りながら歩調や動きを合わせる、自分の役割や仕事の責任をしっかり果たす・・・、運動会には、心に磨きをかける要素がいっぱいあります。しかも、仲間と取り組むことに大きな意義があります。友達と一緒にがんばれます。応援してくれる友達がいるから乗り越えられます。例え失敗しても、負けてしまっても、共にがんばった仲間を認め、受け入れ、勝った相手にしっかり拍手を送る、そんな強い心を目指します。

2つ目のキーワード、「感謝」についてです。

運動会は、保護者や地域の皆様に見ていただく行事です。日ごろの「感謝」の思いを、1つ目のキーワードである「成長」した姿としてお見せすることで伝えます。

暑い日が続く、十分な練習ができないかもしれませんが、運動会を作り上げる『過程』を大切にに取り組んでまいります。子どもたちへの声援を、どうぞよろしくお願いいたします。